

経営者・総務人事担当者みなさま、2021-2022シーズンのインフルエンザの予防接種について検討されていますでしょうか？コロナ禍の昨年のシーズンにはインフルエンザの流行が起きなかったため、今年の予防接種をどうしようかと悩んでいる担当者も多いと思われる。

1. 課題の背景：

昨シーズンはインフルエンザの罹患者は1万4000人程度と、ほとんど流行は起きませんでした。また、日本でのインフルエンザ流行を予測する上で参考となる南半球のオーストラリアでも、2021年のシーズンの流行は見られませんでした。しかし、昨シーズン流行しなかったからこそ、インフルエンザに対する免疫を持たない人が増え続けていることになり、今シーズンに流行する可能性も否定はできません。（参考情報1,2）

一方で、今年のインフルエンザワクチンの供給は昨年よりも減る見込みとなっており、必要な人に効率よく行きわたることも大事だと言えます（参考情報3）。

また、まだ新型コロナウイルスの予防接種が済んでいない方もいますので、どのように予防接種を進めていくか悩ましいところです。

以上のような課題があり、今年の予防接種を職場でどう進めていくか悩んでいる担当者も多いと思われる。

2. 企業でできる対策

- インフルエンザの予防接種を推奨する
- 個別の感染リスクに応じてインフルエンザの予防接種を特に推奨する
- 新型コロナウイルスの予防接種を優先的に行う

1) インフルエンザの予防接種を推奨する

新型コロナウイルスとインフルエンザは症状で区別することが困難であり、発熱などの症状が出れば、コロナウイルスと同様に10日程度の自宅隔離が必要になるケースもあります（参考情報4）。

健康保険組合等からの費用補助、職場での集団接種等が例年通りに実施できそうであれば、職場での接種を実施することをお勧めします。ただし、例年通りの実施が難しいような場合には、2)で示すように個別の感染リスクに応じて検討するのも一つの方法です。

2) 個別の感染リスクに応じてインフルエンザの予防接種を特に推奨する

業務上の感染リスクが高い方、家庭に子供がいる方、感染した場合の合併症リスクが高い方については、特に予防接種が推奨されます。

特に接種が推奨される方を表にまとめました。例年通りのインフルエンザ予防接種が難しいような場合でも、ぜひ、これらの方については、社内でも接種の推奨をアナウンスしていきましょう。

なお、予防接種時の感染リスクを下げる下記の取り組みも重要です。第31回情報配信「With コロナ時代におけるインフルエンザ予防接種」もご参照ください（参考情報5）。

- 訪問型インフルエンザ予防接種の活用を検討する。
- 予防接種を受ける時は、できるだけ事前に予約するよう周知する。
- 接種を受ける際は、マスク着用、できるだけ密を避ける行動を促す。
- 医療機関の行う感染防止対策に協力するよう促す。

表) インフルエンザ予防接種が特に推奨される対象

| 接種が推奨される理由 | 対象となる方 |
|--|---|
| インフルエンザ感染時に合併症（※）のリスクが高い ※肺炎、中耳炎、脳症、流産、死亡など | ・妊娠中の従業員 ・65歳以上の従業員 ・特定の基礎疾患（※）を持つ従業員 ※心不全、腎不全、免疫不全、喘息や慢性閉塞性疾患（COPD）などの呼吸器疾患など |
| 業務や家庭での感染リスクが高い | ・対面接客業務従事者 ・学校や幼稚園に通う子供が家庭にいる方 |
| 感染した場合の業務への影響が大きい | ・介護業務従事者 ・インフラ業務従事者 |

3) 新型コロナウイルスの予防接種を優先的に行う

現在のところ、原則として、新型コロナワクチンとそれ以外のワクチンは、同時に接種はできません。新型コロナワクチンとその他のワクチンは、互いに、片方のワクチンを受けてから2週間後に接種することになっています（参考情報6）。

まだ新型コロナワクチンを接種していない方については、インフルエンザワクチンの接種をする際にスケジュールの問題が発生します。その場合には、新型コロナウイルスの方がインフルエンザよりも感染性や重篤性が高いことから、優先的に接種する必要がありますでしょう。

3. 関連情報リンク・参考情報：

- 1) インフルワクチン、供給に遅れ 「コロナと同時流行」懸念も 専門家・学会など
<https://news.yahoo.co.jp/articles/180e3c5eca2b25b8633963d3bbc52552747f554a>
- 2) 新型コロナの流行が続く今シーズン、インフルエンザは流行するのか 忽那賢志
<https://news.yahoo.co.jp/byline/kutsunasatoshi/20210904-00252211>
- 3) 今シーズンの季節性インフルエンザワクチンの供給について 日医 online
<https://www.med.or.jp/nichiionline/article/010225.html>
- 4) 2021-22 シーズンの季節性インフルエンザワクチンの接種に関する 日本ワクチン学会の見解 2021年6月22日
http://www.jsvac.jp/pdfs/JSVAC_2020-21flu210622.pdf
- 5) 企業向け新型コロナウイルス対策情報配信 2020年9月28日【31】 With コロナ時代におけるインフルエンザ予防接種 産業医有志グループ
<http://www.oh-supports.com/img/corona/pdf/031.pdf>
- 6) 新型コロナワクチンQ&A 新型コロナワクチンとそれ以外のワクチンは、同時に接種することはできますか。厚生労働省
<https://www.cov19-vaccine.mhlw.go.jp/qa/0037.html>

文責：五十嵐 侑（五十嵐労働衛生コンサルティング合同会社）

※本文章は、産業医有志グループ（今井・櫻木・田原・守田・五十嵐）で作成しました。和田耕治先生（国際医療福祉大学・公衆衛生学教授）のサポートも受けております。

今後も経営者・総務担当者向けに必要な感染拡大防止策情報を随時配信させていただきます。
本情報は著作権フリーですので、ぜひお知り合いの経営者に拡散をお願いします。
※本内容に関するご意見・ご要望は、covid-19@ohsupports.com までお寄せください。
※これまでに配信しましたバックナンバーは、<http://www.oh-supports.com/corona.html>
をご参照ください。